



新しい三原のために
皆様のお力を
どうぞお貸してください

正田洋一事務所

〒723-0062 三原市本町 1-7-32

TEL 0848-63-0085 E-mail info@shoda-yoichi.jp

HP www.shoda-yoichi.jp

三原市市議会議員

第20号

正田洋一

議員レポート

ご挨拶

今回で20号目の発行となります。今回の号では、コロナウイルス感染症問題、河井夫妻の選挙違反事件、天満市長辞任と大きな出来事があった三原市政についての模様および私の行動について報告します。

コロナウイルス問題に対する対応について

落ち着きを見せ始めたコロナウイルス感染症問題ですが、6月下旬ころから首都圏をはじめ三大都市圏で再び感染爆発の状況にあります。

国・県・市などの支援制度がたくさん実施され、経済対策・子育て支援対策等が実施されておりますが、第二波、第三波に向けて、皆様の状況やご意見を伺いながら、引き続き対策を進めていくべきと考えています。

また、災害との複合的課題も抱えております。私の気が付いていない課題もあると思いますので引き続き、ご意見ご要望等をいただきたくお願いします。市を通して提案を進めていきます。

また、何かありましたらお気軽にご相談ください。

天満市長辞任の政治事件の経過と私のアクション

昨年7月の参議院選挙における河井夫婦の大型買収事件は、皆さんニュース等でご存知だとも思います。選挙において、お金を受け取る買収・被買収という行為は、民主主義の根幹を揺るがす行為であり、議員や首長が行ったとなれば大きな問題です。

天満市長においては、河井克行氏より2回にわたりお金を受け取っていることが判明したため、辞任されることとなりました。本件の経過と私のアクションについて報告します。

▶▶▶ 次のページへ続く

- 1 3 月 末 新聞報道により三原市長、大竹市長が河井氏より現金を受け取ったという報道
➡ 会派で仁ノ岡議長を通じて天満市長に説明を求めた。議会での説明はせずマスコミ向けの記者会見を開き、受領を否定される。
- 2 6 月 2 3 日 再度新聞報道。
➡ 議会で、直ちに説明を求め、議会の閉会の挨拶時に議場で説明をされた。
(但し、質疑をさせなかった) 再び受領を否定される
- 3 6 月 2 5 日 一転受領を認め辞任表明される
- 4 6 月 3 0 日 辞任の議案を審査する臨時議会が開催された。
辞任の議案に対して、新聞報道で福山の通信会社の三原営業所においてお金を
受け取っている。また、この事業者が、三原の入札対象企業であることを
質問したが、捜査中ということで答えず。



次に、辞任の議案とは別に、議会で嘘を言ったことに対する抗議決議を安藤議員、寺田議員と提出。賛成多数で可決しましたが、6名の反対者が出たことは驚きでした。

天満市長は辞任をされましたが、新聞報道にあった入札業者との関係の問題は終わっていないと認識をしておりますので、この問題を新市長に変わったとしても追及します。

具体的には、市長が入札対象業者の営業所の鍵を持っていたということは、選挙事案とは別問題です。市長が辞任したから許される問題ではないと思います。この業者の関連につきましては、様々な疑惑等もありますので整理し順次問題提起をしていくことを約束します。議会はチェック機関です。その役割を果たしたいと思っています。

定例議会報告

7月議会のトピックス

1. GIGA スクール構想の進捗とオンライン授業

GIGA スクール構想の三原市教育委員会の進捗状況と国の予算の前倒しに伴い、早期にアクションを開始してもらうために確認の質問をしました。

結論から申し上げます、三原市は広島県内で一番にハード（機器）整備が完了します。計画では12月にはオンライン授業も可能となります。この先は、この機器をどの様に現場の授業に組み込み生かしていくか、GIGAスクール構想の意義の理解をどの様に親御さんにも理解を促すかです。今後もGIGAスクール構想のトップランナーになっていただきたいと思います。

※GIGA スクール構想とは、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画で、目的は子どもたち一人一人の個性に合わせた教育の実現するための構想です。また、教職員の業務を支援する「統合系校務支援システム」の導入で、教員の働き方改革につなげる狙いもあります。

2. BCPの視点に立った庁内テレワーク導入の提案

コロナウイルス感染症問題で注目されたテレワークですが、庁内への導入を求めました。私の全国の議員ネットワークのなかで、他市町では、市役所でクラスターが発生した場合、市役所が業務停止にならないためのテレワークの導入を準備しています。その提案を致しました。

東京都の江東区の事例、葛飾区の事例、広島県内の検討状況を踏まえ、テレワークの導入を前向きに検討するとの回答を得ました。

また、業務を時間ではなく、量や質で図ることと業務の棚卸をすることは、今後の働き方改革やAI（人工知能）の導入にも重要な意味を持ちます。テレワークの導入は、ただ家で仕事ができるという仕組みではなく、業務改善になる他、多様な人材を活用するキーワードになります。

3. 本郷産業廃棄物最終処分場の建設について

本件は、前回と同様に市長の政治家として、業者に対して懸念を表明すること。いまだ取れていない住民合意について、3月の質問からの市長自身のアクションについて聞きました。

市長は、今回初めて業者に対して懸念を表明されました。しかしながら、業者との間にコロナウイルス問題を言い訳に特にアクションはしなかったと答弁しました。

これ以上のやりとりもありましたが割愛します。

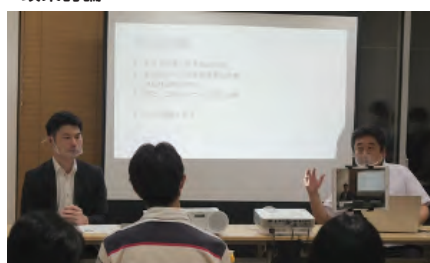


市長が辞職されたため、次の市長に対し、「住民合意すること」、「建設される場合であっても危険除去（公害・防災）・検査体制強化・運用の厳格化に業者は取り組むこと」を引き続き求めていきます。

第10回政策カフェを開催

令和2年7月14日に第10回政策カフェを開催しました。

政策討論



SNSで動画を公開します。

熱く語る岡田さん



- ① 一般質問報告
- ② 三原で起こった政治事件の顛末 ～議会人としての視点の責任について
- ③ 岡田吉弘氏と政策を語る

岡田吉弘さんの公約（マニフェスト）をもとに問題点と具体的施策（解決案）について話していただきました。本件について、動画にて配信をした他、動画編集を行い公開いたします。

私は
市長選挙にむけて
岡田吉弘氏を推薦します。
そして全力で支援します。

岡田吉弘氏のご紹介

プロフィール

1992年3月 中之町幼稚園卒園。
1998年3月 広島大学附属三原小学校卒業。
2001年3月 広島大学附属三原中学校卒業。
2004年3月 広島大学附属福山高等学校卒業。
2008年3月 京都大学工学部工業化学科卒業。
大学卒業後、四国遍路の旅へ。
2008年9月-2009年3月
京都大学福井謙一記念研究センター
研究補佐員として、量子化学計算を
用いる理論化学研究に従事。
2011年 京都大学大学院工学研究科修士課程修了。
日東電工株式会社豊橋事業所に勤務し、
両面接着テープの新製品開発に従事。
2014年4月 松下政経塾入塾。
2018年3月 松下政経塾卒業。



.....
2018年4月 一般社団法人 RoFReC 設立 代表理事就任
三原市で、子どもを対象とするプログラミング教育や STEAM(Science Technology Engineering Art Mathematics) 教育を研究実践。
RoFReC を設立して、代表理事として活動している。
RoFReC は、Robot Futurity Research Community の略称。



＼おかだ吉弘さんを／

私が推薦する理由

私は 2 年前に岡田氏が三原に帰ってきてから、彼の事業のメンバーとして参加させもらった時から付き合いが始まりました。私より 13 歳年下の 35 歳です。

松下政経塾で 4 年もの間、厳しい全寮制という環境で学ばれ、まちづくりの実践を通して、政策力や実行力を磨いておられ、並みの 35 歳ではないという印象を持ちました。

また、三原に帰ってきてすぐに設立された教育事業を行う法人は、市内ではあまり知られていないかもしれませんが、プログラミング教育を起点とし、総務省も注目する教育メソッド開発企業です。

次に政治理念については、私と同じく「地域づくりは人づくり」という思いを持っています。

地域の再生を様々な角度で検討したとき、行き着く先は「地域づくりは人づくりである」という結論になるのですが、この言葉は、何も私や岡田さんが言い出した言葉ではありません。

古くは、広島県出身の池田勇人総理が「国づくりは人づくり」と言われたのが最初かと思います。国や地方をつくっていくのも再生していくのもすべて人であるということです。

岡田氏は、「地域づくりは人づくり」に対して、**様々な具体的な政策案を提示できる人**だということです。松下政経塾で書かれた政策提言書「生涯現役から生涯青春へ」は、地域づくりに欠かせないシニア向けの社会制度改革案が記されています。また、社会を変える ICT（情報通信技術）にも明るい人材であり、地域の課題解決に ICT の果たす役割は大きく、彼自身も地域をつくる人材であるとともに、次の人材を育てることのできる人材でもあります。

次に、この度の市長選挙に出馬することを強く勧めたのは、私です。

私の事務所で、岡田氏と私やインターンの学生さんなどと未来の三原の姿についてよく議論をしています。

彼の政策立案力と実行力は保障します。一方で皆様が心配される市議会。情けないことに前市長の市政を守ってきたのも議会です。これを機会に私が、議会の中からも変化をおこします。

私は、議会人として持っている夢があります。議会の場で、岡田氏ととことん政策論争で対決したい。アルミ缶問題とか談合疑惑とかそういう監視も必要ですが、そのような後ろ向き議論ではなく、未来の三原を作っていくための高い政策論争で対決をしたいと思っています。

但し、前天満市政の総括はやる必要があり、岡田氏も市民の皆様と約束されると思います。

編集後記

三原に大きな変化があり、紙面では伝えきれないほどの情報量を書かせていただきました。文字ばかりになりましたがお許しください。

議員になって 7 年、来年 4 月には私にも選挙があります。日々の行動をきちんと報告し、評価いただけたところまでまだまだだと思いますが、引き続きご指導ご支援よろしくお願いします。